

神戸市地域公共交通計画における数値目標の進捗について

1. 現況値

指 標	基準値	進捗 (小数点第一位まで表示)	目標値
目標1 まちづくりの方針をふまえた公共交通ネットワークの維持・充実			
公共交通分担率	31% (平成22年度)	34.2% (令和3年度)	35% (令和7年度)
目標2 都市の魅力を高める公共交通ネットワークの形成			
都心・観光地での交通手段利用割合 (公共交通および徒歩・自転車の利用割合)	68% (平成27年度)	61.7% (令和2年度)	75% (令和7年度)
目標3 地域の暮らしを支える公共交通ネットワークの形成			
地域コミュニティ交通に対する支援地区数	6地区 (平成27年度)	計19地区 (平成28～令和3年度)	計30地区 ※1 (平成28～令和7年度)
目標4 安全・安心で誰もが利用しやすい交通環境の形成			
ユニバーサルデザインの推進 (鉄道車両の車内・車外案内表示の多言語化(市内で完結する路線))	35編成 (平成27年度)	58編成 (令和3年度)	70編成 (令和7年度)
バス停留所のベンチ新設数	60基 (平成27年度)	計162基 (平成28～令和3年度)	計500基 ※1 (平成28～令和7年度)
市内公共交通機関の利用に関する市民満足度 ※5段階評価 (アンケートにおいて「満足」「やや満足」と回答した人の割合) ※2	57% (令和2年度)	56.2% (令和3年度)	65% (令和7年度)

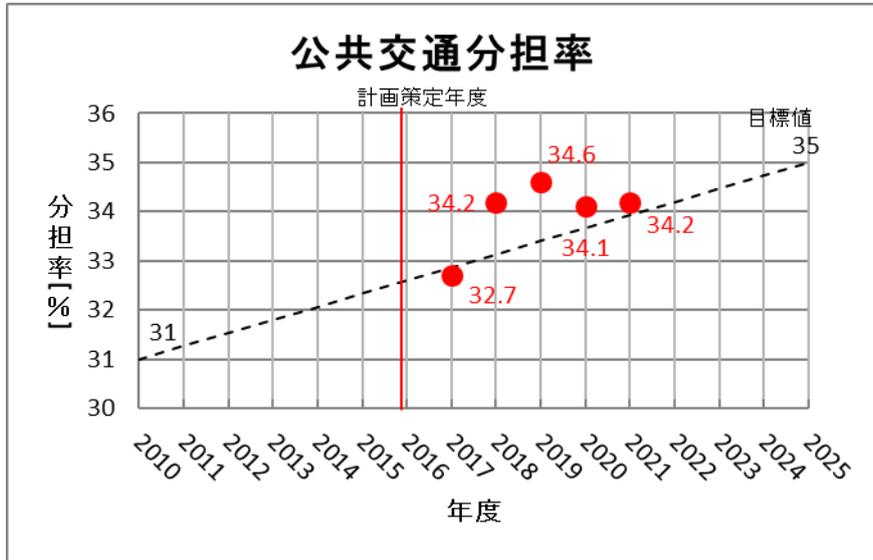
※1 平成28年度から令和7年度までの累計数

※2 市民満足度の数値目標は中間見直し時に追加

2. 進捗状況

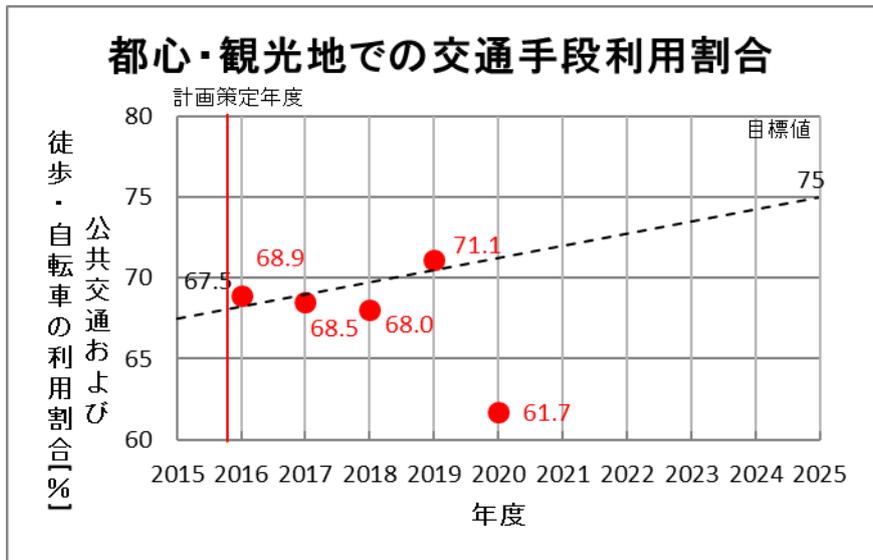
(1) 公共交通分担率

- 令和3（2021）年度に実施したWEBアンケート調査をもとに、H22年度に実施した近畿圏PT調査結果を補正し、現況の交通手段分担率を算出する。
- なお、令和2年度の数値については新型コロナウイルス感染症の影響が予想されるが、従来の算出方法が年次を変数とした単回帰分析を採用していること、算出方法は策定当初から統一化しておくことが望ましいことなどから、参考値としている。



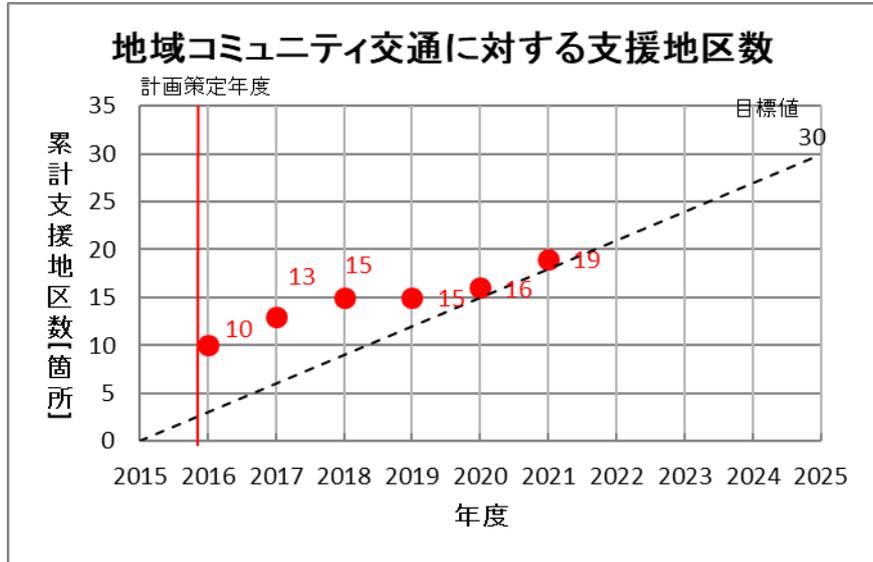
(2) 都心・観光地での交通手段利用割合

- 神戸市経済観光局の実施する観光動向調査をもとに、都心・観光地における公共交通および徒歩、自転車の利用割合を算出する。
- 2017年度より、観光動向調査の質問内容・回答方法が変更されていることに留意。
- なお、観光動向調査の結果が公表されるのは調査実施年度の次年度となる。
- 令和2年度調査においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令により、年4回の調査予定のところ2回（緊急事態宣言発令期間外）の実施となった。



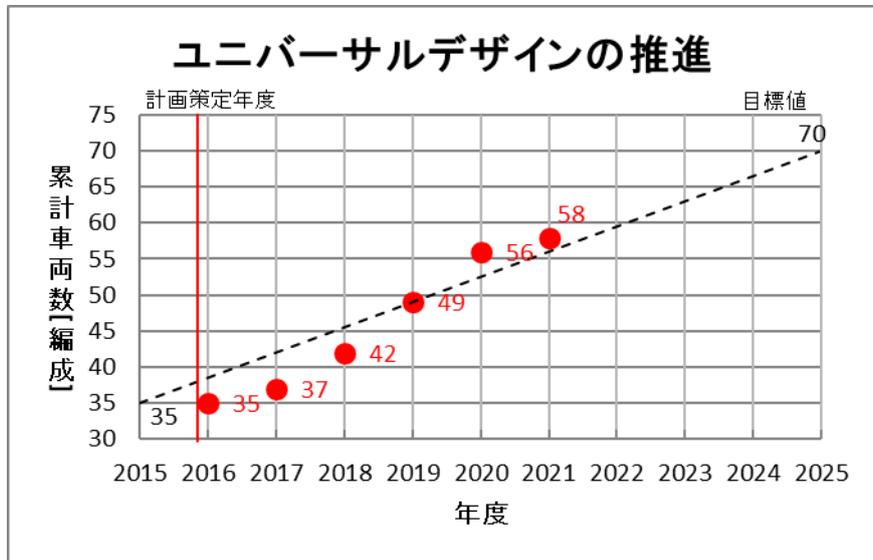
(3) 地域コミュニティ交通に対する支援地区数

- ・平成 28 (2016) 年度から令和 7 (2025) 年度までの 10 年間で 30 箇所での支援を目標。
- ・平成 27 (2015) 年度以前に地域コミュニティ交通に対する支援に着手しており、平成 28 (2016) 年度以降も継続している、ないしは継続していた地区もあわせて計上することとしている



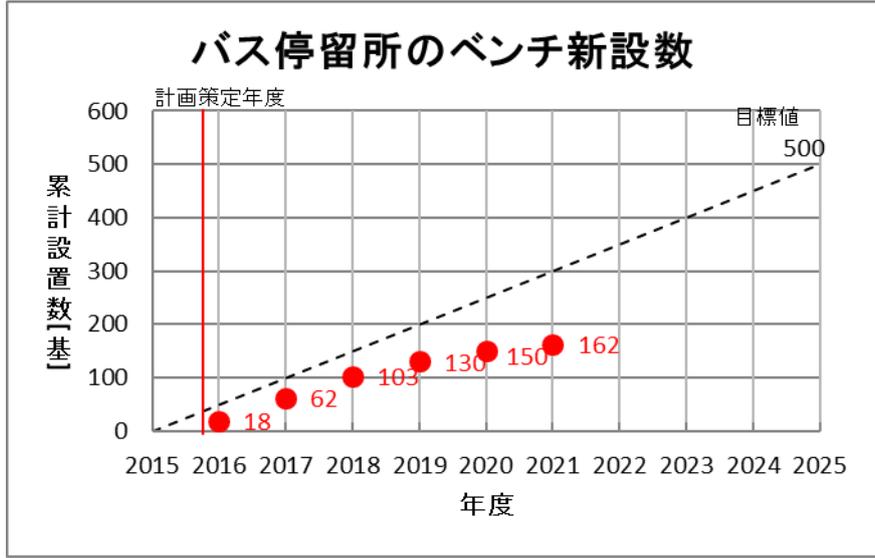
(4) ユニバーサルデザインの推進

- ・令和 7 (2025) 年度までに、市内で完結する路線における鉄道車両の車内・車外案内表示多言語化を行う。



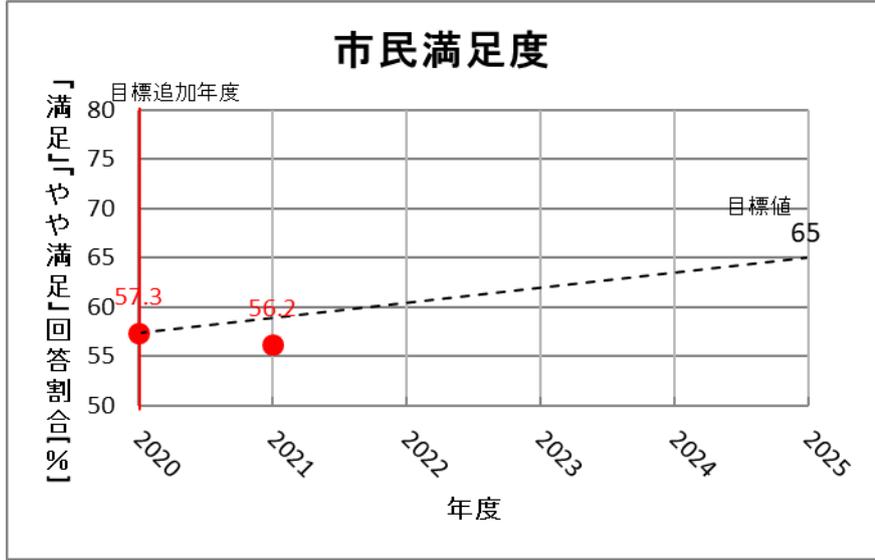
(5) バス停留所のベンチ新設数

・平成 28 (2016) 年度から令和 7 (2025) 年度までの 10 年間で 500 基のベンチ設置を目標。



(6) 市内公共交通機関の利用に関する市民満足度 (R2 追加)

・市民アンケートにおいて「神戸市内の電車・バスやタクシーなどの公共交通機関の利用について、満足していますか。」の問に対し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合が、令和 7 年度までに 65%となることを目標とする (5 段階評価)。



Q18-1_神戸市内の公共交通機関利用の満足度

